

富士見お散歩マップ

鶴瀬・ふじみ野編



イベント



富士見ふるさと祭り(10月下旬)
富士見市役所横の文化の杜公園で開催。市民参加型の企画により、市民のステージ発表の他、市内特産品や農産物、商工業製品の展示及び販売など、祭りを通して、富士見市の魅力を発信しています。



富士見市商店会連合会
マスコットキャラクター
「元氣くん」

いい富士見の日(11月23日)
毎年11月23日を「いい富士見の日」として、市役所周辺を会場に開催されます。市内の美味しいものが集う「ふじみマーケット」、ステージイベントなどが行われる「賑わいづくりイベント」、秋の収穫を祝い、地域の伝統に触れる「ふじみ大地の収穫祭」など、多数のイベントが開催され、秋の1日を家族みんなで楽しめます。



ふじみマーケット(キラリ☆ふじみ駐車場)



ふじみ大地の収穫祭(キラリ☆ふじみ)



賑わいづくりイベント(ららぽーと富士見屋外広場)



はんなさまの祭り(4月10日)
機名神社のお祭りで、植木市が行われる他、多くの屋台も並び、里神楽やお囃子も演じられます。また、桜の見どころでもあり歴史と自然を楽しめます。



子どもフェスティバル(4月下旬)
文化の杜公園で開催される、子どもが主役の春のお祭り。ステージ発表やフリーマーケット、緑日コーナーなど、会場いっしょに子どもたちの笑顔が溢れます。



サーカス・バザール(7月または8月)
キラリ☆ふじみで開催。市内の農作物や特産品をあつかうバザールの中で、サーカスや大道芸の芸人たちが多彩なパフォーマンスを繰り広げます。



おすわさまの祭り(8月28日)
諏訪神社のお祭りで、屋台が連なり、多くの人で賑わいます。夕方からは、市指定文化財の勝瀬囃子・渡戸獅子舞が演じられ、祭りの見どころになっています。



バスケット朝市(9月下旬)
鶴瀬駅西口通り商店会の松本商会駐車場周辺で開催。地元で採れた新鮮野菜やパン、洋菓子、カフェ、雑貨、花などが出店し、バスケット片手にお買い物を楽しめます。



つるせよさい祭り(10月中旬)
鶴瀬駅西口のメインストリートで開催され、毎年50チーム以上が出演。子どものかわいい踊りから、大人の迫力満点の演舞まで、熱気あふれる一日をご覧ください。

鶴瀬でのこだわり



鶴瀬を盛り上げるイベントの数々
地域を盛り上げる様々なイベントが催されている鶴瀬エリア。10月上旬に鶴瀬駅東口で開催されている「夢灯り大市」では、住民参加型のお祭りとするため、地域の子もたちがつづいた灯籠での商店街の装飾、福祉団体やスポーツ少年団による模擬店の出店などが行われています。鶴瀬夢灯り商店会 会長の長根さんは「商店街の個性と活気を活かし、さらに足を運んでみたく場所になりたい」と語ります。



笑顔運び続けるミニ鉄道
「むさし野緑地公園」は全国初の公営ミニ鉄道公園。2020年で開園40周年を迎えます。蒸気や警笛の音が響くミニ鉄道運転会の日は、のべ約1,000人の方が乗車を楽しみます。「日によって走る車両も変わるのでぜひ何度も遊びに来てほしい」と語るのは、富士見市ミニ鉄道クラブ代表の前田さん。「笑顔を運んできたミニ鉄道をこれからも続けていきたい。一緒に活動する仲間も募集中」と話されました。
※運転会の詳細は、マップ面を参照。

富士見市アクセスガイド

鉄道のアクセス
東武東上線と東急東横線、横浜高速みなどみらい線の相互直通運転(東京メトロ副都心線経由)がされており、池袋から約30分、横浜から約70分、大宮から約30分でのアクセスが可能です。

富士見市マスコットキャラクター
ふっぴー

富士見市をもっと楽しめる
観光アプリ「ココシル☆ふじみ」もご利用ください。
web版はこちら
<http://home.fujimi.kokosil.net/ja/>

発行：富士見市地域活性化研究会(ふじみ☆ラボ) この情報は令和2年3月時点の情報です。

文化財・見どころ

鶴瀬駅 1
1914年に開設。開設記念碑が2基あり、東上線ホームから線路越しに見ることが出来ます。(上り線最後部)

谷津の森公園 2
崖線が中ほどを通っており、上段は藤棚・東屋などが整備された林、下段には湧き水や、砂場などもある自然豊かな公園です。

市の花「ふじ」

緑の散歩道「雲居の瀧」 14
滝壺を地中に3mほど掘り下げて造った人工滝です。水源は後ろに続く弁財天の池で、中の島の祠には弁財天が祀られています。

寛文の馬頭観音 16
1664年造立で入間東部地区最古の馬頭観音の一つ。憤怒ではなく、柔和の相で珍しいものです。坂の上に3体の石仏が並んでいます。

市の木「ケヤキ」

関口不動堂 6
修験者が信仰していた不動尊を本尊としています。堂の前には三芳町藤久保から移設された修験姿の天狗像があります。

渡戸の庚申塔 7
青面金剛像を浮き彫りにした庚申塔。「是より右江戸道、入間郡鶴馬村領主渡戸中」と刻まれ、道標にもなっています。

市の鳥「カワセミ」

安産祈願の馬頭観音 6
昼間、夜間いずれかの出産をお願いすれば希望が叶えられるといわれ、多くの産婦が安産祈願したと伝えられています。

護国寺 6
龍王山薬王院護国寺という天台宗の寺院。江戸時代に寺子屋が開かれ、1868年には駒林村(現ふじみ野市)と共同の勝瀬学校となりました。

市名の由来「富士山」

下鶴馬水川神社 14
祭神は須佐之男命で、下鶴馬の産土神です。神社及びそれに隣接する横田家屋敷林は県の「ふるさとの森」にも指定されました。

来迎寺 6 13
鎌倉時代創建といわれ、本尊は阿彌陀如来像。六地藏や女人講68人で造立した延命地藏などがあります。明治6年に地域初の学校が開校。

来迎の泉 6 12
来迎寺の南側斜面から流れる湧水。平成の造成時に見つかった水量の多い箇所「来迎の泉」の銘板が設置されました。

瑠璃光寺 17
江戸時代には戸籍役場を兼ね、寺子屋として鶴馬での精神的支柱だったといえます。六地藏や市指定天然記念物のカヤの木などがあります。

加治家長屋門 18
江戸時代の面影を残す長屋門は、格式の高い家か寺院でない建築が許可されなかったといわれます。※個人宅のため中には入れません。

からくり時計塔 19
中央図書館開館を記念してつくられたものです。定刻になると箱が回転して、動物たちが楽しい音楽を演奏します。

医者坊主の墓 9
1698年に亡くなった星野平太夫の墓。薬草、薬石に通じた行者で「医者坊主」と呼ばれ、庶民から親しまれていました。

渡戸観音堂 11
本尊の馬頭観音(1664年造立)は市内最古。境内にある1690年造立の馬が浮き彫られた馬頭観音は特異で、入間東部唯一といわれます。

コロボックルの碑 15
1907年、貝塚山での出土品はコロボックルの遺物との説が提唱、後に否定されるが、その石碑は学史上貴重とされます。(市指定文化財)

護国寺大型板碑 7
市指定有形文化財の板碑(板石塔婆)3基が護国寺境内にあります。1252年11月8日銘の大型板碑は市内最初期のものの一つです。

道辺の如意輪観音 8
1689年造立。日待信仰の本尊として祀られ、また、膝を立てて座る姿勢は産婦の産座の形で、夫人の守り神として信仰されました。

谷田薬師如来の石仏 10
勝瀬小の隣にあり、市内唯一の薬師如来石仏(1666年再建)。眼病に効くとして信仰を集めました。※校外から見学してください。

陰波の庚申塔 10
1674年造立。現在の富士見台中は殿山台地といわれ、斜面の雑木林の中にありましたが、宅地開発で下の道路脇に移されました。

諏訪神社 12
通称「おすわさま」。創立年度は不詳ですが、御神木の大神(市指定天然記念物)などから古い時代の創立と推察されます。

上鶴馬水川神社 15
1907年に上鶴馬の村社に指定され、祭神は須佐之男命です。北野天神社、神明社、雷電社などが合祀されています。

富士見市役所 21
広島原爆から蘇った木といわれる青桐の2世。鶴瀬駅前から移植された開成記念樹のナツメの2本が植樹されています。※写真は青桐2世。

権平川橋 3
権平川に架かる橋。東上線の単線時代からあり、上り線側はレンガ製で、その徳を人々に分け与えるため1869年に建立されました。

上沢薬師堂(百観音) 4
西国33、坂東33、秩父34カ所の霊場を大曾根家が三代に渡り巡礼。その徳を人々に分け与えるため1869年に建立されました。

ふじみ野駅東口モニュメント「富士見の船」 1
勝瀬原区画のシンボルとして2008年に設置。夢や発展をテーマに、富士山の溶岩やケヤキが育つ姿などをイメージしました。

桔梗ヶ原緑地公園 2
ふじみ野駅一帯はかつて紫色の桔梗が咲き、桔梗ヶ原と呼ばれました。現在は緑地公園として整備、市民の憩いの場となっています。

勝瀬ミニパークの「顔オブジェ」 3
子どもがよじ登って遊べる御影石の顔オブジェ。公園が狭く遊具が置けなため、喜怒哀楽の「楽」の表情を選んで設置したといわれます。

お舟山 11
砂川堀沿いにある小さな山。機名神社創立に関わる伝説が残る、人工的なものから自然地形かは不明です。

機名神社 12
祭神は埴山姫命と豊受姫命の二柱の農家の女神で、広く稲作農家から信仰されました。境内にある銀杏の木は市指定天然記念物です。

環境センター「利彩館」 13
分別処理施設と、リサイクル活動を推進する拠点として2002年に開館。中古家具の展示販売なども行われています。

文化財・見どころ